

会報誌 「ドローン Magazine」 ドローン体験会の記録（報告書）

この記録は「ドローン体験会」江別市教育委員会主催の支援の記録です、今後の開催・支援等の参考にしましょう。



1 概要

- (1) タイトル ドローン体験会
- (2) 目的 江別市内の青少年に対するドローンの知識と技能の導入
- (3) 主催 江別市教育委員会生涯学習課 スタッフ4名（女性2名）
- (4) 支援 北海道ドローン研究会 スタッフ8名（女性1名）

2 詳細

- (1) 内容 ドローンの基礎知識、トイドローンを利用して風船割り・ゲート通過練習
- (2) 対象 小学3年生から中学3年生 30名
- (3) 日時 2023年2月25日（土） 13時—17時
- (4) 場所 江別市公民館ホール
- (5) 宣伝方法 江別市教育委員会計画による市内公募
- (6) 協力・予算 子ども会（予算）
- (7) 準備資材（抜粋）
 - ・トイドローン A20 20機（教委）、Mini、Pro、phantom 4、micro、他展示用トイ
 - ・パンポイント6、風船スタンド3、ゲート大3、ゲート50cm10
 - ・ゲート円・自立（教委作成）、コーン・ポール式、椅子20、テーブル6
- (8) 参考資料
 - ・ドローン体験会進行要領、プレゼンテーション資料、健康確認シート
 - ・ドローン体験会計画メモ、ゲームルール張り紙、操作方法張り紙、まんまる新聞

3 実施実績

- ・来場者数 30名募集（約60名応募数） 29名参加（遅刻者3名）

4 当日の会場の様子

- ・全体像がわかる写真、参加者の表情がわかる写真 有

5 メディア掲載実績

- ・メディア名「まんまる新聞」、3月10日版掲載

6 来場者の声/SNSでの反響

- ・投稿の数や内容 SNS 等利用なし

7 纏め

- ・進行、会場準備は市教委、研究会は風船割り準備とドローンの説明・操作支援のみを担当した。以下、参加者の感想を追記

8 参加者の感想メモ

(1) 運営について

- ・進行は順調に行われた、・事前の説明（プレゼン）の要領の再考

(2) 体験方法について

- ・風船割りはサポートが困難（風船により割れる難易度に差異が大きい）
- ・ドローンシュミレーター体験、ドローンストラックアウト
- ・ドローンの展示・説明を充実、・体験時の電波干渉や操縦不能時の対応再考

(3) 時間配分について

- ・参加人数と体験人数の再考、説明やサポート人数の再考

(3) 纏め

・計画・進行等について市教委の方々の準備は素晴らしいと思います、体験方法も風船割り、自由操縦（ゲート）でありストラックアウトやシュミレーター体験、ドローン展示説明等で体験者の選択肢を拡げ見学（待機）者がなく参加時間を多く楽しめる追及、約30名の体験者が事故なく終了した。

・トイドローンの電波干渉、トイドローンは衝突回避機能が貧弱であり、群衆飛行の場合は可能な範囲で同一メーカー・機種は避ける

(4) 実際の声（抽出）

- ・体験会の流れは概ね良かった、ドローンに触れる時間を多く、参加人数の再考。
- ・お手伝いして楽しかった、多くの子供が興味を持って良かった。
- ・ドローンシミュレーター体験で待機者が FPV をゲーム体験も良い。
- ・体験にストラックアウトで遊ぶのも良い。
- ・トイドローンの電波干渉・他機ペアリング多発（群衆飛行には衝突回避機能が貧弱）
- ・FPV 画像・ドローンの画像をプロジェクターで映すのは。
- ・風船割り、自由操縦と選択方式も風船割りゲームの人气が今一ない。
- ・風船割りは風船の準備が面倒、ドローンが当たっても割れる確率に差異がある。
- ・ドローン説明が子供達には難しく長かった。説明方法は良かった。
- ・展示ドローンの説明の人が不足。
- ・不本意な飛行状態（電波干渉等）での対応（操縦を変える）。
- ・初めての体験会にしては良かった。

札幌市西区西野4条10丁目12番12号

北海道ドローン研究会事務局 ドローン Magazine 編集部 高橋

JR8YQH 事務局 (JA5KTF/8)

Clubhouse CLUB : 「北海道ドローン研究会」

com@forest.ocn.ne.jp

<http://www.hds.comdrone.net/>